

平成24年度農業青年グループ等育成事業（地域青年農業者等グループ助成）

事業主体名 さつま町農業青年クラブ

1 目的

近年、農業をとりまく環境の変化、とりわけ消費の多様化が進む中で、環境に優しい農業の取組が消費者に評価され、農産物のブランド化を進める取組事例が増えつつある。

そこで、ホテルなど地域の水生生物に配慮した環境に優しい農業生産技術の検討や農産物のブランド化の方策を検討するとともに、地産地消推進活動等を通じて、クラブ員の地域貢献に対する意識啓発と各自の資質向上を図る。

2 実施状況（主要なものを選定して記載してください）

(1) 環境に優しい米作りの実証

＜活動内容＞

- ・ 発生予察による病害虫防除の実施
- ・ 水生生物に優しい防除資材の検討

＜効果＞

- ・ 慣行栽培と比較して農薬を6割削減できた。
- ・ 収量は10a当たり420kgでやや少なかったが、品質は1等米となった。



(2) ブランド化方策の検討

＜活動内容＞

- ・ 大学教授（農産物流通）によるブランド化・マーケティングに関する研修
- ・ デザイナーとのパッケージ検討

＜効果＞

- ・ 販売やマーケティングに関する意識が高まった。
- ・ 米の販売に向け、具体的な取組を経験できた。



(3) 直売活動によるPR体験

＜活動内容＞

- ・ さつまフェスタ等のさつま町内での直売活動
- ・ イオン直売企画への参加

＜効果＞

- ・ さつま町内では、販売が振るわず苦労した。
- ・ イオンでは、お客さんから「おいしかった」との声も得た。他地区の青年クラブの取組が参考になった。



3 今後の課題、取り組み

- ・ ブランド化につながる米作りの検討
- ・ 販売方策の検討